

新たな政策課題にも積極的に対応していきます

カスタマーハラスメント対策を知事に要請



社会 2024年(令和6年) 6月1日 (土)

条例制定対応協議へ

労組要請に「問題意識同じ」

顧客が理不尽な要求をする「カスタマーハラスメント(カハラ)」の防止につなげる条例の制定について、山本一太知事は31日、関係部署で協議を始めることを明らかにした。流通小売やサービス業などの労働組合でつくるU・Aセンが、同日、山本知事を訪れ、条例制定を要請。山本知事は同じ問題意識を持っている。

カハラ防止で知事

流通小売業やサービス業の組合が多く集まるU・Aセンと共に、近年社会問題化しているカスタマーハラスメント対策の条例制定を要請。知事からも「問題意識は同じ」と対応に意欲を示していただきました。

■ カスタマーハラスメントとは

顧客が企業や店舗に対して理不尽な要求・クレームを行うことを指します。

店員を怒鳴りつけ土下座を要求するケースや、商品を無料で提供するように執拗に要求するケースなどが社会問題化し、業界で働く方々の就業環境を守るためにも行政側の対応が求められ、自治体レベルでの条例制定の動きが広がりつつあります。

金属ヤード規制条例化目指し、特別委員会が始動

社会 2024年(令和6年) 6月13日 (木曜日)

ヤード規制へ実態調査

県全市町村、条例も視野



ヤードを巡っては、環境や騒音・振動などの問題が生じている。県は、県内各地のヤードの実態を調査し、必要に応じて条例制定を検討する。また、県内各地のヤードの実態を調査し、必要に応じて条例制定を検討する。また、県内各地のヤードの実態を調査し、必要に応じて条例制定を検討する。

■ 金属ヤードとは

廃自動車などの廃金属製品を再資源化を目的に収集・保管する施設。廃棄物処理法の対象外。写真のように周囲を鉄板で囲まれている施設が多い。

金属ヤードは、古くから「スクラップ屋」等の呼び名で営業されてきた業態ですが、近年、外国人が営業する施設が増え、騒音・粉塵・水質汚染などの周辺環境の悪化を懸念する近隣住民の声が多く寄せられるようになりました。また、周囲を鉄板で囲まれていることから、自動車や太陽光発電のケーブルの盗難犯罪の温床となることも指摘されており、千葉県など規制強化の条例制定の動きが広がっています。

後藤が所属する「循環型社会構築に関する特別委員会」において、近県同様に規制を強化しなければ悪質な事業者が群馬県に集まってきてしまう等の懸念から、条例化を視野に議論を進めていくことになりました。

LIBERAL GUNMA 変革

後藤にとって政治の最大のテーマは、「失われた30年」をいかに克服するかにあります。国民の暮らしも教育も福祉も、国の経済を再生し豊かにしなければ充実はないと考えるからです。

そのため、「過去の勝ちパターン」に固執する今の政策を根本から問い直し、「新たな成長モデル」を地方から創り上げるべく、後藤は奔走しています。新エネルギーやデジタル産業の最先端の現場に触れ、県議会で政策モデルを創りつつける先に、日本経済を変革する未来を信じて走り続けます。

再エネ事業に不可欠な蓄電池・パワーコンディショナーの世界的トップ企業、ファウエイ社を訪問し、最先端の技術に触れる。



後藤かつみ
県議会レポート

HP

<http://www.ccrgoto.com/>
<http://www.eaglesgoto.com/>
(スマートフォン用)

PC用

スマートフォン用

Facebook

QRコード

発行 リベラル群馬 後藤かつみ事務所
住所 高崎市八幡町 800-24
TEL&FAX 027-343-1393
e-mail ccrgoto@af.wakwak.com